光明３年生　宝塚自然の家の下見報告　　2025. 11.5　髙橋美千代

日　　時　2025年11月3日（祝・月）　宝塚駅10時集合　／　14:00自然の家出発
参 加 者　高山・小山・樋口（車提供）・鹿本・池田・小西・高橋　７名
場　　所　宝塚自然の家
目　　的
・宝塚自然の家で生きもの探検をしよう
・ギフチョウの保護活動を知る
・古い民家や農機具などを見学する
・昆虫の話を聞く
① 植物の紅葉はまだまだであるが、実はそれなりに実っていた
② ギフチョウのサナギの確認をする（この日、和田さんよりトロ箱に保存されてるサナギを見せていただく。当日まで本館に置くのでそれを児童に見せて良いとの事）
③ 茅葺きの家の中にあった道具などは、歴史民俗資料館に保存されているとの事
④ アリジゴクは去年に比べ少ないが、森のキッチンが一番多くて大きい

門のところ（トイレ付近）
・モッコクの赤い実が少ない　・アケビの実は時期的に終わっている　・むかごができていた

橋を渡る
・ギフチョウのゲージを見る　・タカノツメの短枝の先の赤い冬芽が鷹の爪に似てる
・ガンピ・アキノキリンソウ・ウメモドキの赤い実・サルトリイバラ　・ナツハゼの実

茅葺の古民家
・カキノキの実が多かった

民俗資料館
・ナツハゼの黒い実と紅葉
・コシアブラは天ぷらにして食べる　・ヤマウルシかぶれる（はっぱの色が違うのは葉が重なりあって太陽にあたったから）　・ヒメヤシャブシの実

天文台
・ヌルデは翼があり実と虫こぶ（貴族のおはぐろに利用）今年は虫こぶが見られなかった
・天文台の階段下にアリジゴク　少ない
・マツの葉に触れる

森のキッチン
・ヒノキとアスナロの実　葉はＹとＷを確認　・コバノガマズミの赤い実多い
・トイレ付近にセンブリ
・サワヒヨドリはアサギマダラが蜜を吸う　・タムシバの葉はキシリトールのように甘い
・カンアオイはギフチョウの幼虫の食草　・ウリカエデのプロペラ型の種子
・トキリマメの黄色い花

＊管理棟の福田さんに電話で確認をした
① 歴史民俗資料館と体験学習を見学するので、鍵を開けてもらう（去年施錠されていた）
② 昼食は森のキッチンを使用する